

「ながら運転」について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2022年4月19日)

この度申し上げます内容は、学生による自転車の「ながら運転」についてです。

近頃、京都大学構内および周辺地域において、学生がスマートフォンを操作しながら自転車を運転する「ながら運転」を頻繁に見かけます。登校してそれを見かけない日はないと言っていいほどです。

そしてその頻度は増加傾向にあるように感じています。

当然ですが、「ながら運転」は極めて危険な行為です。

全国では何件も死亡事故が発生しています。

私も昨年の夏、「ながら運転」をする自転車が事故を起こす現場に遭遇しました。(この事故はご存じでしょうか。吉田南総合図書館の東の駐車場前です。「ながら運転」をする自転車が他の自転車に突っ込み、ぶつかられた側の運転者は横転しました)

事故になっていなくとも、「ながら運転」をする自転車が事故を起こしそうになる瞬間を繰り返し目にしています。

このまま何の対策もしなければ、近い将来、極めて高い確率で、京都大学の学生による重大事故が発生すると思います。

重大事故が発生してから後手の対策をするのではなく、先手を打って何らかの対策を取っていただきたく思います。

(月並みですが、職員による構内のパトロールの強化や、学生に対する自転車講習、「ながら運転」をした学生の実家への通知などを提案いたします)

仮に今後、道路交通法において「ながら運転」が厳罰化されたとしても、警察が立ち入らない大学構内での行為はなくならないでしょう。

いずれは大学側の対策が必要になると考えます。

ご検討のほどよろしく願いいたします。

【回答】(回答日:2022年4月28日)

(回答部署:教育推進・学生支援部学生課)

自転車マナーについては、以前から Campus Life Information 等で注意喚起を行っている

ころです。

ご意見を踏まえ、最新の Campus Life News vol.56(4月28日に発行)に、「ながら運転」も含めた自転車マナーについて記事を掲載し注意喚起を行いました。

ご意見ありがとうございました。